

電磁環境への取り組み

Activities for Electromagnetic Environment

電磁環境

Electromagnetic Environment

◆ 携帯電話等の電波による人体への影響調査

Investigation of the Effect of Radio Wave to Human Body

- **LTE(Long Term Evolution)がヒトの聴覚刺激を用いた事象関連電位に与える影響**
Effects of electromagnetic fields from LTE(long-term evolution) on awake electroencephalogram in healthy humans
- **カルシウム動態に対する高周波帯電磁界の影響評価**
Evaluation of influence of High frequency band radio waves on calcium dynamics

◆ 電波の安全性に関する広報活動

Publicity Activity of the Radio Safety

- **広報用パンフレット・小冊子の作成、配布**
Production and distribution of the brochures and leaflets for the public
- **ホームページによる電波の解説と研究成果の開示**
Disclosure of research results and the description of the radio via the web

◆ 不要電波問題等への対応

To reduce the harmful effects of "unnecessary electromagnetic waves"

- **電磁両立性への対応**
Investigation of Electro-Magnetic Compatibility
- **「医療機関における携帯電話等の使用に関する指針」の公表**
Publication of "Guidelines for Use of Mobile Phones in Medical Institutions"
- **「医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き」並びに手引き普及のための「電波の安全利用規定(例)」/動画/e-learning等の公表**
"Guidance for using radio waves safely and securely at medical institutions" and "Radio safety regulations (example)" / Movie / e-learning etc. for dissemination of the guidance



いわゆる『電磁過敏症』について

近年、携帯電話などの電波を発する機器の普及に伴い、日常生活での電波ばく露によって、頭痛や睡眠障害などの自覚症状、いわゆる『電磁過敏症』を発症するのではないかと、メディア等で報じられることがあります。

これについて、世界保健機関（WHO）をはじめ国内外の専門機関は、「電磁過敏症と言われる症状を電波ばく露と結び付ける科学的根拠はありません」、「これらの症状は、電波ばく露そのものではなく、ノシーボ効果のように電波の健康影響を恐れる結果としてのストレス反応によるかも知れないという示唆もあります」との見解を示しています。

電波が人体に与える影響は、我が国を含む世界各国で数十年間にわたって蓄積されてきた膨大な研究成果から、一定以上の強さの電波ばく露によって、高い周波数では全身や局所の体温が上がる「熱作用」、低い周波数では体内に電流が流れて神経を刺激する「刺激作用」が知られています。この「熱作用」や「刺激作用」による人体への有害な影響を防ぎ、より安全により安心して電波を利用するために、我が国では電波防護に関する基準値が制定されています。この電波防護に関する基準値は、WHOが推奨し、多くの国々が採用している国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）のガイドラインと同等で、人体への影響を十分に考慮した値となっています。

電磁環境委員会は、放送局や携帯電話基地局および携帯電話などの機器からの電波ばく露と「電磁過敏症」を結びつける科学的根拠は無いと判断しており、安心してご利用いただけるものと考えています。